

ことば

次世代に誇れる郷土・岡山を ～地域と歩むケーブルテレビ～

岡山ネットワーク株式会社 常勤顧問

河原 聰



当社は岡山市に所在するケーブルテレビ局で、社名は岡山ネットワークですが、on・i・ビジュンの愛称で親しまれています。視聴者や取材先からは「オニさん」と声をかけられます。

盛り上がっています。チームの活躍で地域経済も活性化している岡山にあって、当社も地域の中できらりと光る存在でありたいと、30余人の社員がワンチームで活動を続けています。

岡山県は日照時間が長く、晴れの国と呼ばれ、桃、ブドウなどの産地としてフルーツ王国を自認しています。今年はサッカーのファジアーノ岡山がJ1に初昇格し、ホームのJFE晴れの国スタジアムは、開幕から満席が続き、新スタジアム建設に向けた署名活動も

創設は1983年、開局は放送事業をスタートさせた1993年です。2000年からインターネット接続サービスを始め、通信事業も担うようになりました。放送事業は、ケーブルテレビで、地上波テレビ（NHK、民放5局とサンテレビ）とFMラジオの再放

送や衛星放送（BS 22局、CS 11専門チャンネル70局）、自主制作番組（コミュニティチャンネル・コミニチャン）の放送などを行っています。通信事業ではインターネットに始まり、IP電話、モバイルへとサービス分野が広がっています。放送サービスと合わせて通信の各サービスを当社でまとめることで、利用者の負担軽減につながるようなユーモア目線に立った取り組みも進めています。

した。行政相談月間の関連行事のPRや無料相談会などを当社が取材し、ニュースとしてコミチャンでオンエアしたことなどが評価されたのではと考えております。全社員にとつて身に余る栄誉であり、今後の励みにしたいと思っております。



一日特設相談所の取材

当社の営業エリアは岡山市を中心で、加入は約6万8000世帯。岡山市も出資している第3セク

ターで、筆頭株主は岡山県を中心とした地元新聞社の山陽新聞社です。同社やそのグループ会社とともに地域が元気になるような放送やイベントを展開しています。

今年から本格的に取り組んでいるテーマが、くらし安全、防災・減災です。

コミチャンでは、サブチャンネルを活用し、特設チャンネルを開設しました。河川、天気、交通渋滞の3部で構成し、隨時画面が変わるようになっています。2018年の西日本豪雨では、倉敷市真備町の浸水が全国ニュースになりましたが、当社のエリアの岡山市東区平島地区などでも河川氾濫があり、被害もありました。

その教訓を生かし、国土交通省、岡山県の協力も得て、河川カメラの映像をリアルタイムで放送し、増水時の避難などに役立てもらうようにしています。今後、発生が懸念されている南海トラフを起因とした大地震に向けての対策も

視野に入れているところです。
画面では、岡山市から緊急情報が発出された場合、リアルタイムで文字化した内容が映し出されます。消防の出動状況のほか、気象警報発表に伴う避難所の開設などをつぶさに掲載するよう努めています。市民のくらし安全に向け、

当社でできることを検討して、関係機関の協力を得ながら実行に移しています。



避難所情報

の協力では、同局が作成した防災

番組をコミチャーンで随时流しています。実際に災害が発生した際の協力体制なども、当社のBCP（事業継続計画）を含めて、整えてい るところです。

ケーブルテレビは各家庭にケーブルをつないで、安定的にテレビを視聴していただことから始まっています。ケーブルは近年、光ファイバーを使つての大容量の通信が可能になり、テレビだけではなくインターネットや電話にも同じ線を使っていただいています。インターネット対応型のテレビの普及で、同じ画面で放送と通信が同居する時代となり、その環境の快適さを支える役割が当社に求められるようになっています。動画配信サービスのユーチューブはじめ、ダゾーン、ネットフリックスなどの動画・音声は、通信を通じて視聴可能となります。なくてはならないインフラとなっている光通信サービスは、大手キャリアなどとの競合もありますが、なお

一層の安定・充実に向け、力を注いでいきたいと思つております。

地域の活力を導くためには郷土への愛着や誇りは欠かせません。地域を発信することも当社の役割だと思つております。その中で、

放送だけでなく提供地域を越えたユーチューブによる発信も手掛け

るようになりました。2月に岡山市の東部にある西大寺で開催される日本三大奇祭の一つに数えられる「西大寺会陽（はだか祭り）」や、8月にJR岡山駅前通りで繰り広げられる桃太郎伝説に起源をもとめる踊り「うらじや」などの生配信にも取り組んでいます。迫力十分のライブ中継は、エリアを越えた多くの皆さんからも高評価をいただいております。

岡山県内には14のケーブルテレビ局があり、それぞれのエリアで独自の放送を展開していますが、甲子園がかかる夏の高校野球岡山大会の生中継はスクラム組んで取り組んでいます。各局のニュースや情報などを相互にやり取りし、「オール岡山」のカラーも打ち出しています。



夏祭り「うらじや」生中継

行政相談委員の皆様の活動は、地域課題を見つけて解決を図るよう導くということで、当社も地域がよりよく、誇れる郷土であります。続けるために貢献できればと思っております。

ゴールは同じです。次世代に誇れる郷土・岡山を引き継ぐため、行政相談委員の皆様と心ひとつに歩んでいければと願います。